

☆神戸市水道サービス公社で活躍する若手職員☆

神戸市水道サービス公社で活躍する若手職員として、令和3年度に入社した佐伯さん、穴吹さんにお話を聞いてみました。



佐伯 美羽
(令和3年度入社)
技術職員

Q. なぜ神戸市水道サービス公社で働こうと思いましたか？

A. 生まれ育った神戸の街でライフラインにかかわる仕事をしたかったからです。その中でも公社は、神戸市だけでなく他都市のお仕事もできるという点にとっても魅力を感じました。

Q. 今どのような仕事を担当していますか？

A. 老朽化した水道管を地震に強い管へ取り替える設計、工事監督の業務を担当しています。

Q. 1日の勤務スケジュール例

8:30 出勤（又は在宅勤務）

	現地調査（設計）
12:00	昼休憩
13:00	現場監督
	水栓作業（バルブ操作）

17:30 退勤（又は在宅勤務）

Q. 実際に1年間働いてみてどうでしたか？

A. 設計から工事監督業務と水道工事の一連の仕事ができるのでとてもやりがいを感じます。自分で設計したとおりに水道管が布設されていくのを見たときは感動しました。普段私たちが生活に利用している水道水はたくさんの人が関わって供給されていることを学び、これからも安全な水道水を届けられるよう一つ一つの仕事を丁寧にこなしていきたいです。

Q. 職場の雰囲気はどうか？ ワーク・ライフ・バランスは実現できていますか？

A. わからないことはすぐに聞ける環境で、先輩方から様々な知識や技術を学ぶことができ、とてもおもしろいです。休日には趣味である釣りにも行け、とても充実した日々を過ごしています。

